

「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

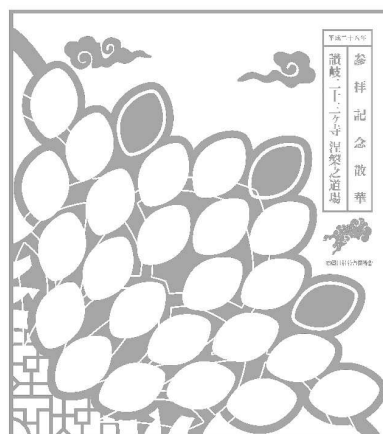
日本遺産認定記念散華

記念散華を集め特製散華台紙に貼付し、四国四県の特製散華台紙を組み合わせることで、色鮮やかな華が完成します。

一 四国八十八ヶ所霊場にて軸・納経帳に納経していただくと、記念散華を授与致します。

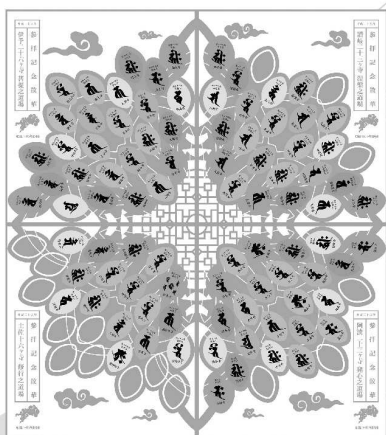
◆ 納経されない方へは1枚100円で授与致します。

一 記念散華を各県ごとにご用意された特製散華台紙に貼付してください。



三 特製散華台紙に記念散華を全て貼付すると完成します。

◆ 記念散華を貼付する位置に決まりはありません。



【特製散華台紙について】

◆ 1、8、18、28、38、48、58、68、78、88番札所にて授与しております。

※この他の札所でも授与しております。詳しくは四国八十八ヶ所霊場会にお問合せください。

◆ 4県分4枚セットを3,000円で授与致します。授与は4県分4枚セットのみとなります。

◆ 特製散華台紙のデザインは、変更されることがございます。

■散華とは

仏様を供養する法要の時に、蓮弁「蓮の花びら」の形をしたものを散布することが大変ありがたいものとして扱われています。元来は蓮弁をはじめとする生花が使われましたが、いつのころか蓮の形をかたどった色紙が代用されるようになりました。

■衛門三郎のお話し

昔、衛門三郎という者がおりました。衛門三郎はお大師様にお会いするため、追いかけるようにお四国をお参りしておりました。しかしいくら進めど、お大師様にお会いすることが出来ず、立ち止まり考えておりました。そしてふと後を振り返ってみると、何とそこにお大師様がいらっしゃったのです。

衛門三郎は、お大師様は自分の前を歩いておられたのではなく、いつも後から自分のことを見守ってくださっていたのだと悟りました。衛門三郎がこの事に気が付いたのが閏年であったとされます。閏年にお遍路を逆からお参りする逆打ちをすれば、お大師様にお会いできるという言い伝えにより、多くのお遍路さんが順打ちとともに逆打ちをしておられます。